

観せる水道

体験



夏休み親子水源地バスツアー

市内在住の小学生と保護者を対象に、水源である牧尾ダム(長野県王滝村・木曽町)を訪れる日帰りバスツアーを開催しました。

このツアーでは、水が家庭の蛇口に届くまでの仕組みを学んだほか、木曽おもちゃ美術館も見学し、親子で楽しく学べる一日となりました。

親子で学ぶ水道教室

長草公民館で市内在住の小学生と保護者を対象とした水道教室を開催しました。

水道の仕組みを、ろ過実験や利き水体验を通して学んだ後、普段は立ち入ることのできない長草配水場内を見学しました。水がきれいになり、安全に家庭へ届けられるまでの工程を、体验を通して理解を深めました。



給水タンク車の展示・応急給水の体験

大府小学校で実施した地域総ぐるみ防災訓練では、給水タンク車の展示や簡易給水槽を使った応急給水体验を行いました。職員が給水タンク車から簡易給水槽へ水を送る方法を説明した後、参加者は実際に給水作業を体验しました。



おおぶの水の販売

大府の水道水のおいしさを知ってもらうため、「おおぶの水」を販売しています。木曽川を水源とする水道水をそのままボトル缶に詰めた商品で、飲用はもちろん、土産や災害備蓄にも最適です。

市役所・KURUTOおおぶなどで1本(税込み110円)から購入できますので、ぜひお買い求めください。

水質検査の結果や水道工事に関する情報を市ウェブサイトで発信しています！

水質検査
結果



工事
案内



水道マスクットキャラクター いっとんくん

見えない水道を、見える安心へ。

水道経営課 ☎(45)6238
水道工務課 ☎(45)6319

みせる水道

将来を見据えた 水道事業計画の策定



市の水道事業を取り巻く経営環境は、水の使用量減少による収入減や県営水道料金の改定、物価高による維持管理費の増加など、厳しい状況にあります。能登半島地震をはじめとする大規模災害への備えや老朽管による漏水事故への対応も重要な課題です。

将来にわたって安心して水道を使えるよう、目指す方向性や収支計画を示す「大府市水道持続ビジョン2035」を新たに策定します。本ビジョンは、3月に市ウェブサイトで公表予定です。



路上漏水通報 システムの開始



道路上での漏水やマンホールの破損などをを見つけた際は、市ウェブサイトの通報フォームからご連絡ください。

道路、河川・水路を横断する水管の漏水や、マンホールの破損などの異常を24時間いつでも匿名で通報できます。ぜひ、お気軽にご利用ください。



市内公共施設への非常用給水栓の設置



市では、マンションなどの受水槽に取り付ける非常用給水栓の設置を推奨しています。設置しておくことで、災害により配水管が断水し受水槽への給水が停止した場合や、停電により受水槽内の水を送れなくなった場合でも、受水槽にためた水を使えます。市は、市内の小・中学校や公園などへの非常用給水栓の設置を進めており、2024年度に2カ所、2025年度には11カ所での設置完了を予定しています。



水道おぶちゃん(左)・
下水道おぶちゃんが誕生



使用済みマンホールふたの販売



老朽化や交換により役目を終えた使用済みマンホールふたを知多半島で初めて数量限定で販売します。さび・傷も含めてどれもが個性的な一点物。ぜひ、この機会にコレクションしてみませんか。

- ▶ 販売枚数 13枚
- ▶ 最低価格 1枚3000円(税抜き・入札方式)
- ▶ 申込 2/2(月)~27(金)に申込書に必要事項を記入し、FAX・メール・郵送または申込先窓口へ。

水道経営課 ☎(45)6238 FAX(45)5185
✉suido@city.obu.lg.jp ☎474-8701

課題共有

診せる水道

2026.2

きっかけ

見せる水道

興味関心

魅せる水道

2026.2 10

将来の安定運営に向けて 水道料金の改定

改定日
6月1日(月)

平均改定率
6%

現在、市の水道施設や水道管は、比較的良好な状態を保っていますが、年月とともに傷みが進むため、計画的な更新が欠かせません。今後、更新が必要な施設が増え、多くの費用がかかることから、経営は厳しい状況が見込まれています。こうした状況を踏まえ、水道事業を将来にわたって安定的に運営するため、2014年4月以来、12年ぶりに水道料金を改定します。今回の料金改定は、物価高騰が続く社会情勢や市民生活への影響を考慮した料金体系としています。皆さんには負担をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



● 基本料金(1ヶ月)

口径	改定前	改定後 2026.6.1~	(税抜き) UP額
13mm	600円	620円	+20円
20mm	600円	620円	+20円
25mm	2,900円	3,075円	+175円
40mm	8,690円	9,220円	+530円
50mm	13,270円	14,075円	+805円
75mm	32,560円	34,525円	+1,965円
100mm	56,670円	60,100円	+3,430円
125mm	79,570円	84,400円	+4,830円
共用1戸につき	600円	620円	+20円

● 水量料金(1ヶ月・1m³当たり)

区分	改定前	改定後 2026.6.1~	(税抜き) UP額
10m³まで	85円	85円	0円
10~20m³	115円	126円	+11円
20~30m³	175円	191円	+16円
30~50m³	216円	235円	+19円
50m³以上	258円	280円	+22円
臨時用	423円	461円	+38円

物価高対策

申請不要

2020年6月以降、計30ヶ月の減免措置に加え

2026年2~5月検針分(4ヶ月分)

水道基本料金を半額免除



一般家庭の平均使用量
1ヶ月で25m³の場合(税込み)

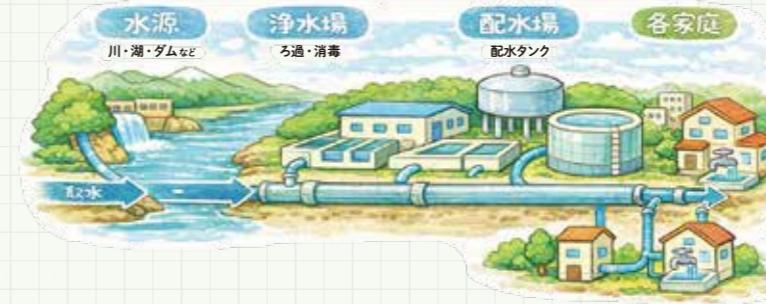
改定前 3,820円 改定後 **4,050円**

水道経営課 小林孝行

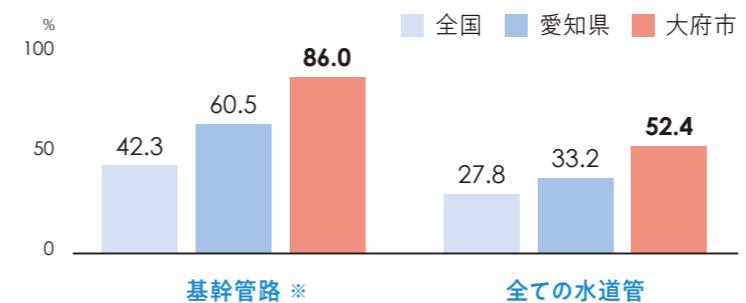


料金改定は、皆さんにご負担をお願いすることになりますが、大府の水をこれからも守り続けていくために必要な取り組みです。ご理解とご協力をお願いします。今後も、将来にわたって持続可能な水道事業を運営し、安心・安全な水を安定的に皆さんのもとへお届けしていきます。

市では、皆さんに安心して水道を使えるよう、耐震化や老朽水道管の更新を計画的に進めています。現在、市の水道管の耐震化率は全国でも高い水準を維持しており、災害時にも安定して水を届けられる体制を整えています。



地震に強い水道管の割合(耐震適合率) 2023年度時点



* 基幹管路

水道管には、配水場から市内へ送る「配水本管」と各家庭に給水する「配水支管」があり、市では太さ約30cm以上の配水本管を「基幹管路」と呼びます。



経営比較分析表から分かる安全な水道

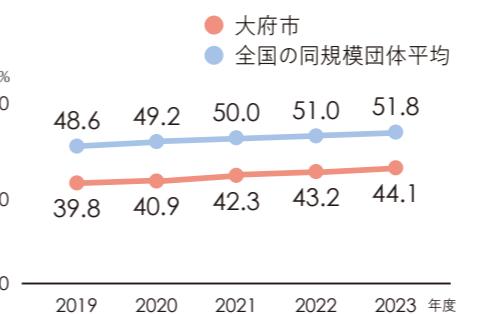
2023年度の経営比較分析表によると、市の水道施設は、全国の同規模団体と比べて、良好な状態が保たれています。

これは、計画的に点検を行い、古くなった水道管などを少しづつ更新してきた成果です。皆さんに毎日安心して水道を使い続けられるよう、地道に施設の維持管理を進めています。



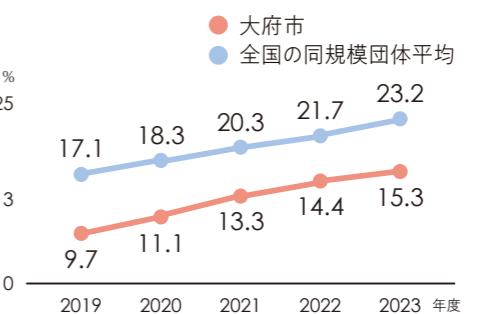
有形固定資産減価償却率

水道施設や水道管が、どれくらい新しい状態かを表す目安です。数値が低いほど、新しい施設が多いことを示します。



管路経年化率

標準的な使用年数を超えた水道管の割合を表す目安です。数値が低いほど、老朽管が少ないことを示します。



市民の暮らしを支える
水道インフラ強化

水道インフラ強化